



ボランティア各位

2013年10月吉日

緩和ケア病棟ボランティア係

## 緩和ケア病棟ボランティア総会のご報告

天候の恵まれた良い日に、ボランティア総会にご参加いただきありがとうございました。また、ご参加が難しかった方もご連絡をいただきありがとうございました。

2013年10月5日、無事ボランティア総会を開催することができました。今年度は、ボランティアの皆様と共に緩和ケア病棟におけるボランティアについて改めて考える場として学習会の場を設けさせていただきました。「ボランティアとしての姿勢・コミュニケーション」について名古屋市立大学 大野裕美先生よりご講演いただき、緩和ケア病棟でのボランティアに必要な知識や技術について教授いただきました。

また、ボランティアの運営に関する意見交換においては、今後の緩和ケア病棟におけるボランティア活動に貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。主なご意見とそれに対する今後の取り組みについては以下の内容になります。

今後もみなさまと共に緩和ケア病棟の充実に向け努力して参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

### 【ご意見いただいた内容と今後の取り組み】

#### 1. ボランティアと医療従事者間での情報共有方法について

ご意見) 記録に残すとなると時間がなく次回来る時になることもある。タイムリーな情報伝達の難しさを感じている。自宅に戻ってから記録し、メールで添付して送るのはいかがでしょうか。

#### 取り組み)

- 1-1) 基本はこれまで通り、ファイルへ残す。
- 2) 早急な検討が必要だと思われる内容は、尾関師長へ、尾関師長不在時はリーダーへ相談ください。リーダーの役割として病棟スタッフもボランティアの方からお話があるということを意識して勤務しております。ただし、状況により両者ともに難しい場合は奥村へご連絡ください。
- 3) メールでの対応については病院側へ提案をしてみますのでお待ちください。病院への提案事項に関する内容でしたらメールでのご意見も可能ですが、患者様に関する情報の場合、誤送となった場合の個人情報保護法に反するリスクが伴うため、確認後お返事いたします。

## 2. ボランティア活動の支援体制について

- 2-1) 教育的支援：ボランティア定例会の半年に1回 名古屋市立大学 大野裕美先生をお招きし、医療者なしで相談できる場を設けようと思います。また、今後の予定としては、基礎と応用というように研修の計画を立てていきたいと思っています。
- 2) 意見交換の場：医療者を含めた意見交換の場としては、これまで通りボランティア定例会（偶数月、次回は12月3日13時～）を実施いたします。
- 3) コーディネーターについて：ボランティアと病棟スタッフとの連携をより密にするため、ふれあいボランティア・イベントボランティアのコーディネーターは、一度尾関師長に変更してみようと思います。傾聴ボランティアに関してはこれまで通り西尾美佐喜さんへご連絡ください。

## 3. その他

緩和ケア病棟でのボランティア活動に関する規定については明文化し、ホームページ「緩和ケア内科」にボランティア活動に関する項目を作成し掲載していきたいと思っています。適宜定例会議事録も掲載していくよう検討していきます。

